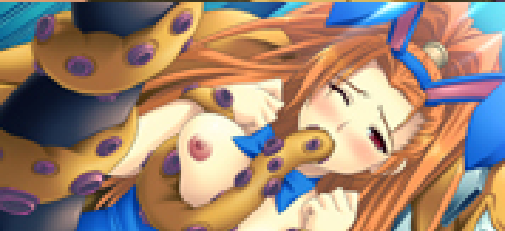


大魔女バーバラの血を引き、転職修行の旅を続けるDQVIバー●ラ『家出娘』。
悪鬼・獣魔・触魔などの強敵モンスターに敗北し抵抗力を奪われ淫らな快楽に屈する。



『お●バローナの娘』として、大魔法使いを目指す気丈な心を
押し潰す恥辱にいつしか被害の悦びに墮ち性臭にまみれの奴隷と果てる!

- あいぶ
- ふえら
- ▶ レイブ
- しよくしゅプレイ
- りんかん

1/2

バー●ラ

痴辱白濁転職 全滅代償日記

Hシーンを盛り上げる吹き出し台詞モード付き!!



「ひ、ああ……っ……っ……
バカ……変なとこ舐めないでよ！
んっ……んっ……んっ……」

「や……最低……！
こんなヤツらに、ああ……
こんなの、いやあ……っ……」



「い、いやっ！ だ、だめっ！
あう、ん、んん……っ！」

「ああ……ふ……っ、
はふ、っふ、ぐ……っう、ひあ……っ……」





「あつぐう、はああ……こんなもの、
おかしく、なるッ……！ そんな……ッ」

「止めてえ……っ！」

「死んじやう……！ れろ、れろ……、
はふ、んあああ……」



「ふあぁッ！
お願い……中に出さないでえ……ッ！
はふっ、んはぁ……ッ！」

「なんでも……ち、ちこ……
中に出さないで……言っただのに……ッ！」



「ちよ、ちよっと……！ キャアッ！？ んっぶうー！」

「ふ、ああ……、か、顔にっ、バカ……ん、ああーっ！」



「いっ……っ、クズモンスターっ。
や、やだっ、ん、あ、あっ！」

「だ、だめえ！ い、痛いっ……早くっ、
抜いて……あふ、あん！」



「いーやっ……、
信じられない……、
変態っ！ んっく、はあ……」

「んんんんんんんん……やめっ……いーやあ……っ」



「熱いし……、
臭いし、ふあ……、
気持ち悪くて……、
つう……」

「ん、んっくああッー！
んっく、はあ……んふっ……」



「ど、どうして……ああ……あつ、もつ……、
止めて、はあ……はあ」

「い……や……っ、いやあ……、
ゆ、許して……お願い、です……」



「む……う、うう……、いや、いや……
いやっ……見ない……でっ……」

「ああう、ん、んああ！
恥ずかしい……っ、イク……イクう！」



「ゆっくり……くうあ！あう、
くうう……！無理、苦しい……ンンンッ」

「あ、ん……っ、はあふ……、
はあふ、ふあ……っ！い、痛い……」



「だめえ……、ひああ、
つくあふ……んう、つくうう……！」

「これえ……んんああ！ や、やっ！ んっく……ふうっ！」



「もっと、優しく……あう！
や、ゆっくり……ん、んっ！」

「ひあ……っ！んあ、
あ、う！こわい……ん、んう……はあ」



「お、奥に、精子……、
いっぱい……んあ、あ、あんっ……」

「くっくっ、んっ！
だめ……らめえ、
アソコにっ！ はあっ……」



「ん、んう……はあ、く……あ、あん……っ」

「ああっ、んううう、ううッ！ 熱い……っ、ああうー」



「ああうっ！ あん、
んあう……！ こんな
痛くて苦しいだけ……よっ！」

「いやらしいっ！ ああう、
ん、み、っぎ……！」

「だめ、だめ……っ！」



「はあっ！ んあう、んうう……あ、ん、ん不、んああ！」

「い……いやあッ！
やめ……っ、あぐ、ぶううっ……」



「い……いやよっ！
気持ち、悪いの……かけないでえ、ああ、んー」

「もうだめっ……、
お、お願い……」

「これで、満足でしょっ……離しなさい」



「く、うう……っ、
だ、黙りなさい……このっ、変態っ！」

「これ、あう、んう……っ、う、動かないで……っ、あああ！」



「キヤッ……ッ？」

「ゆ、許して？
あぐ……っ、ああああッ！ あ、あう……ッ」

「や、やだ、気持ち悪い……ッ！ シ、ンッ！」



「あ、熱い……っ、

アソコが……擦れて、

あん！だめ、だめえっ……！」

「我慢……できない、もっと……、

奥まで……っ、はあ、ん、はあ……！」



「あああああ！ くあつっ！
あ、んはあ……いい……イクう！」

「す、すま……ん……
……オマ●コ……、
あぁッ！ シンシッ……！」



「ちゅろ、ちゅろ……、
すっ、い……っ……はむっ、ちゅぽ……あむ、ちゅ」

「もっ、ちゅぽっ！ 突いてえ……、
オ●ンチン……いいのぉ……」



「んっ、ちゆる……美味しい、
はふっ……ふはあ、んっふふ」

「はあ……ん、嬉しいっ……精子、
好きっ……ふあ、あ……っ」



「な、臍内じっ……出して……ふあああ！
熱いスペルマでイッちゃうのか……！」

「ね、もっと出ますか？
まだまだオ●ンコの中に出して下さい……！」



「んぶう……っぢゆる、
オ●ンコ突いてえ……！
精子い、出してえ……」

「あん、んあ……！
気持ちいい……ぢゅぽ、
ぢゆるるっ……、感じちゃっつ……！」



「もっと……もっと千●ポお……！
千●ポ欲しいの……あん！ んううう！」

「いい、気持ちいい……っ、あむ、んう……ちゅぽ……ちゅっ」



「ああ、いい匂い……、
ン、ン……臭くて……、
ぬるぬるして……ん、もっとか……」

「イ、ク……っ、イッちゃ……うっ！
オ●ンコ……いいですう……」